

令和4年度の予算が決定

予算総額 195億4,460万円

一般会計:112億9,900万円 特別会計:69億6,330万円 企業会計:12億8,230万円



養老町議会第1回定例会が3月4日(金)に開会され、最終日の18日(金)に、令和4年度予算案(一般会計、8事業の特別会計、2事業の企業会計について)が可決されました。承認された新年度予算について、その概略をご紹介します。

基本姿勢・運営方針

本年度からスタートした「養老町まちづくりビジョン」では、施策の大綱として「魅力あふれる地域づくり」「未来を担う人づくり」「安心・安全な生活基盤づくり」「活力あふれる基盤づくり」「行政経営機能の強化」を掲げています。特に、住民参画・地域資源の活用・持続可能なまちづくりを推進するため、大綱の主要な項目でもある関係人口の創出、子育て・教育環境の充実を図る施策と新食肉基幹市場建設事業を基本方針と位置づけ、他の様々な分野と連携し、複合的に展開することで、相乗効果を生みだし、まちの将来像「人があつまり 楽しく生きがいのあるまち」の実現を目指していきます。

また、町内の新型コロナウイルスへの感染状況は年明け以降、急激に増加していることから、マスクの着用や手指衛生、密回避、不要不急の移動自粛などの基本的な感染防止対策の徹底を図るとともに、地域社会・地域経済の回復、さらには発展に向けて取り組んでまいります。

予算のあらまし

予算の内訳は、一般会計が112億9,900万円、特別会計が69億6,330万円、企業会計が12億8,230万円、総額195億4,460万円です。

一般会計は前年度比0・7%増、特別会計は前年度比0・2%増、企業会計は前年度比9・6%減し、総額としては前年度比0・2%減となりました。

一般会計予算の歳入面では、町税は前年度から5・1%増の33億2,397万円を計上、地方交付税は、前年度比4・6%増の25億2,710万円を見積もりました。

また、町債については地方財源の不足に対処するための臨時財政対策債に前年度比66・7%減の2億1,810万円を見込み、町道の舗装・改良の地方道路等整備事業債、用排水施設等の整備に係る県営ため池防災対策事業債、高規格救急自動車購入事業債など、総額で4億7,130万円を計上しました。